### 我が家の防災メモ

勤務先・学校等	電話番号
<del> </del>	
	勤務先・学校等

# 現代での記念の記録の記録

地震、噴火などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になっ た場合に、家族の安否や避難先を知らせることができます。一般電話の他に公衆電話、携帯電 話からも利用できます。下記の他に、各携帯会社の災害伝言サービスも活用して下さい。

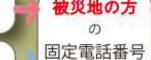
### 災害用侵害ダイヤル171















1# ダイヤル式以外

録音

再生

さ

を

利用

25

### 災害用侵害版 (Web 171)

安否を伝えたい



安否を確認したい

Web171 ヘアクセス https://www.web171.jp 利用者登録

被災地の方

電話番号 携帯電話番号も可) 入力

確認

# 朝日村(御馬越地区) 地区防災マップ

平成30年12月



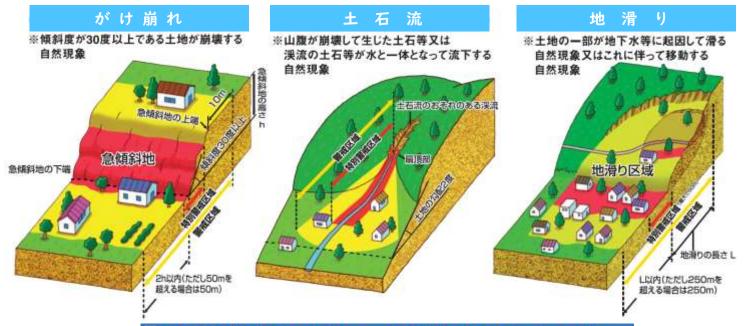
村 朝 日

### 土砂災害の基礎知識

がけ崩れや土石流、地すべりが発生した場合、被害を受ける恐れのある区域について県が土砂災害(特別)警戒区域として指定しています。

該当地区にお住まいの方は、大雨時には警戒避難が必要となる可能性があるため、避難場所の確認や避難経路の確認など、日頃からの備えが必要です。

#### 土砂災害の種類と警戒区域・特別警戒区域

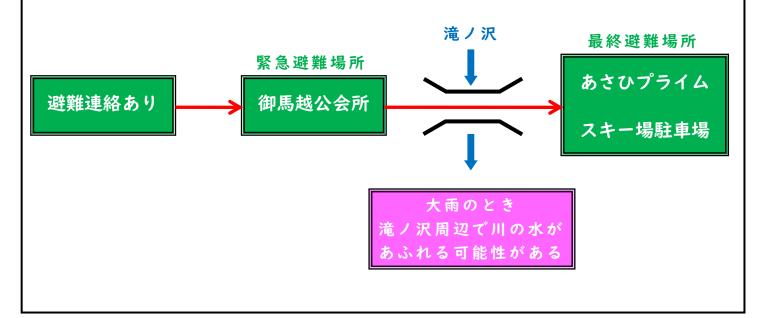


### 「土砂災害防止法」で区域に指定されると…



### 避難場所および避難ルート

- I. 避難の連絡があった場合は、緊急避難場所の「御馬越公会所」に避難しましょう。
- 2. 一人暮らしのご高齢の方や、からだの不自由な方の避難には、近隣の皆 さんの支援が必要です。助け合いましょう。
- 3. 避難場所に向かうときは、急斜面や沢などの状況変化に十分注意しながらなるべくまとまって移動しましょう。



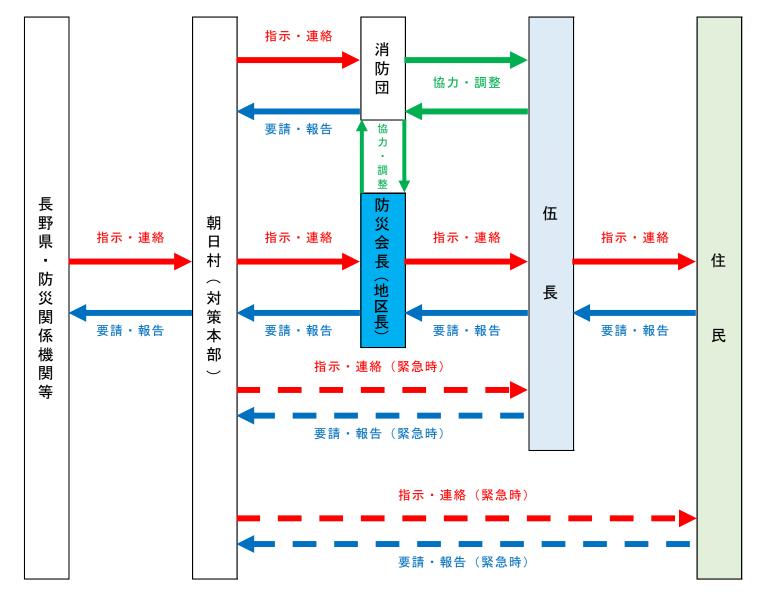
#### 最終避難場所へ避難するときに注意すること

- 1. 土砂災害発生のおそれがある場合に、緊急避難場所から最終避難場所へ移動するときは、事前に必ず複数人で、滝ノ沢橋周辺の水路があふれていないかなど、安全を確認しましょう。
- 2. 滝ノ沢橋周辺で水路があふれていて移動が困難な場合は、無理に渡ろうとせず、緊急避難場所にとどまり安全を確保しましょう。

10

### 災害時の連絡系統と主な連絡先

災害発生時、及び前兆現象を発見した際は原則として朝日村(消防団)⇔地区長⇔伍長⇔住民 の系統により、情報伝達・収集を行います。



	防災関連機関等一覧					
	名 称	所在地	電話番号	備考		
消防局	松本広域消防局	松本市渚1-7-12	25-0119	代 表		
119番	山形消防署	山形村5997-3	98-4455	代 表		
警察	塩尻警察署	塩尻市宗賀73-305	54-0110	代表		
110番	朝日村駐在所	朝日村小野沢1327-7	99-2066	代表		
胡口艹	朝日村役場	朝日村古見   555-	99-2001	代表		
朝日村   施 設	御馬越公会所	朝日村古見125-口	99-0070	AYT電話		
//E DX	あさひプライムスキー場	朝日村古見306-1	99-3700			
地 区						

### 土砂災害の予兆現象に注意しよう

土砂災害が発生する前には、予兆現象が確認されることがあります。大雨が降り始めた時には、周囲 の様子に注意して、次のような現象を発見したら直ちに避難を開始しましょう。 行政機関の情報に依存しすぎず、自らの判断で避難する事が重要です。

#### ∅土石流の発生前には…



山鳴りがする



急に川の流れが濁り、流木が混ざっている



雨が降り続いているのに、 川の水位が下がる

#### ◈がけ崩れの発生前には…



がけに割れ目が見える



がけから水が湧き出す



がけから小石が落ちてくる

#### ∞がけ崩れの発生前には…



沢や井戸の水が濁る



地面にひび割れができる



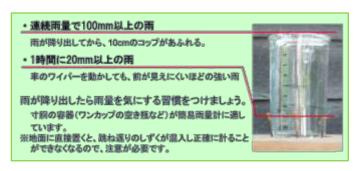
斜面から水が噴き出す

#### ∅この他にも…

- ・地鳴り、木々の千切れる音、岩の割れる音などがする
- ・ものの腐ったような臭い(腐葉土、下肥の臭い)がする
- ・小動物が異常行動(騒ぐなど)をとる など

### 行政機関などからの情報に注意しよう

ワンカップなどの寸胴容器に、底から I cm刻みで目盛りを書き、雨を遮るものがない平坦な 場所に水平に置く事で、大体の雨量を知ることができます。雨が降り出したら各自雨量を計測 するとともに、行政機関等からの情報に注意するよう、日頃から心がけておきましょう。



I時間雨量 10~20mm 20~30mm 30~50mm 50~80mm 80mm以上   予報用語 やや強い雨 強い雨 激しい雨 非常に激しい雨 猛烈な雨   ドケツを びっくり返した このように降る なるようないっくり返した に降る 必怖とたまうに降る	雨の強さと降り方の目安					
ドリカイメージ ドーザーと どしゃ降り した に降る 恐怖と なるような はん に降る とがし とした とした した に降る とがし とり した に降る という	I時間雨量	10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm以上
降りカイメージ ドーザーと どしゃ降り ひっくり返 滝のよう なるような した に降る 恐怖と	予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
	降り方イメージ	ザーザーと 降る	どしゃ降り	ひっくり返 した		なるような 恐怖と

#### ■行政機関や気象台から発表される情報

土砂災害警戒情報・・・土砂災害の危険性が高まった場合に、市町村単位で、気象台と県から(地域の 雨量などを考慮して)発表される情報

特別警報・・・・・・・数十年に一度の大雨等、大災害の可能性が非常に高まった場合に気象庁から 市町村単位で発表される情報

#### 朝日村から発令される避難情報

避難準備· 高齢者等避難開始 災害の発生の恐れがある時。 高齢者や急傾斜地のある地域の方など、早めの避難が必要な 方は自主避難を開始する。

いつでも避難ができるよう準備を整えておく。





人的被害の発生する可能性が明らかに高まった時。

家族・近所の人と助け合いながら、速やかに避難所等、安全な 場所に避難を開始する。

人的被害の発生する危険性が非常に高まった時。 直ちに避難を完了する。

避難に十分な時間が取れない場合は、生命を守る最低限の 行動をとる。

これらの情報は、テレビやラジオなどからも流れます。また、長野県河川砂防情報ステーション (長野県ホームページ)や気象庁ホームページでも、情報を確認できます。 普段から、情報を積極的に入手する習慣をつけましょう。

リンク:長野県河川砂防情報ステーション(PC)

(モバイル)

http://www.sabo-nagano.jp/

気象庁ホームページ

http://www.sabo-nagano.jp/m/ http://www.jma.go.jp/

### 我が家の非常時持出品チェックシート

飲	<b>A</b>
民人	艮
~ \	

□ 飲料水	□ 非常食	□ 簡易食器
□ ラップ類		

#### 情報

□ 携帯ラジオ	□ 懐中電灯	□ 電池
□ 筆記用具		

#### 衛生

□ 医薬品	□ タオル	□ マスク
□ ウェットティッシュ		

#### 便利

□ 雨具	□ ロープ	□ はさみ
□ ビニール袋		

#### 最後に

□ 現金	□ 持病薬	□ 身分証明書
□鍵	□ マイナンバーカード	

※非常持ち出し袋は、いちど背負ってみて重すぎないか確認してみましょう。

#### その他あると便利なもの

□ 防寒具	□ 着替え	□ 毛布
□ LEDランタン	□ カイロ	□ 折り畳みポリタンク
□ 卓上コンロ	□ ビニールシート	□ ガムテープ
□ ティッシュ	□ 簡易トイレ	□ めがね
□ 歯ブラシ	□ 紙オムツ	

※これ以外に必要な物があれば空欄に追加してチェックしましょう。

#### いつでも避難できるように 持ち出し品をチェックしておきましょう

### 非常時持出品リスト

災害後の救助や支援物資が届くまでに最低限必要なものを準備しておきましょう。

1人当たり3日分以上の食料や飲み物などを備えておきましょう。

電池・筆記用具

家族構成によっても違ってきますので、何が必要か 家族で話し合って

## みましょう! 飲食 最後に 医薬品・タオル・マスク 飲料水・非常食 ウェットティッシュなど 簡易食器・ラッブ類 現金(公衆電話用に10円玉) 持病薬。身分証明書。鍵 マイナンバーカード(通知書)など 携帯ラジオ・懐中電灯

# 谷の他あると、関系



防寒具・着替え・毛布・LEDランタン・カイロ・折り畳みポリタンク・卓上コンロ ビニールシート・ガムテープ・ティッシュ・簡易トイレ・めがね・歯ブラシ等・紙オムツ etc 各で家庭に合わせ必要な物を準備して下さい

### 避難時の心得



あらかじめ安全な 避難路の確認



非常持出品の準備



正確な情報収集と 早めの行動



避難の呼びかけに 注意



緊急車両の妨げ等に なるので徒歩で避難



要配慮者の避難に ご協力を



動きやすい服装 2人以上での避難



側溝、マンホールに注意

### 時は要配慮者をひんなでし

「要配慮者」とは、高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など、情報収集や避難活動を速やかに行う ことが難しく、大きな被害を受けやすい方たちをいいます。近隣に住んでおられる方、もしくは 要配慮者利用施設がありましたら安全に避難できるよう手助けをお願いします。

①高齢者・病人



背負って安全な場所まで避難する。

②肢体の不自由な方 (車椅子の方)



階段では2人以上が必要。登りは上向き、下りは後ろ向きに して移動する。

③耳の不自由な方

手話、筆談、身振り等で正確な情報を伝える。

④目の不自由な方



手引きをする時は、杖(白杖)を持った方の腕はとらないよう にします。自分のひじの辺りを軽く持ってもらうようにする か、杖(白杖)を持たない手を自分の腕に絡ませて半歩前をゆ っくり歩く。

⑤知的・精神障害のある方

積極的に声をかけ、焦るような言動は避けてまず安心感を与 える。

